



東京産業保健総合支援センター研修案内(平成29年11月～平成30年1月)

◇研修のお申し込みは、当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.tokyos.johas.go.jp>

◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
11月7日(火) 14:00～16:00	ストレスチェック制度と産業保健 産業医をめぐる法規制の動向とともに、ストレスチェック制度のあらましと、平成27年11月に厚生労働省から公表された「長時間労働者、高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル」を基に高ストレス者の面接指導の実施方法、「面接指導結果報告書」「就業上の措置に係る意見書」の記載方法等について解説します。	古山 善一	生涯・更新 ²	70
11月9日(木) 14:00～16:00	事業場における治療と職業生活の両立支援 がんやメンタルヘルス不調などに罹患した従業員を健康面、人事面からしっかりサポートし治療と就業の両立をはかることは、本人にとっても会社にとっても有意義な取り組みです。本研修では、この両立支援を行うに産業医がキーパーソンとしてどのような対応を行うのかを一緒に学びたいと思います。	内田 和彦	生涯・専門 ²	70
11月16日(木) 14:00～16:00	「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法 大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様な事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・専門 ²	70
11月17日(金) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の二酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地 ³	30
11月20日(月) 14:00～16:00	労基法・安衛法・労災保険法における視点と相違点 過重労働対策を中心に、各法制度の特徴を明らかにして労務管理・健康管理上の留意点を検討したいと思います。	飯島 正三	生涯・専門 ²	70
11月28日(火) 14:00～16:00	職場の感染症対策 産業医の業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、結核やウイルス肝炎など特殊な感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場で発生しうる感染症とともに、海外勤務者にリスクのある感染症についての対策を解説します。	濱田 篤郎	生涯・専門 ²	70
12月1日(金) 14:00～16:00	健康診断事後措置の具体的事例～ケースカンファレンス～ 健康診断の事後措置について、「就業に関する医師等の意見」に焦点をあて、その解説に加えて事例のグループ討議を行います。産業医がどのように事後措置へ関るのかの理解を深めることを目的とした研修です。	竹田 透	生涯・実地 ¹ 生涯・更新 ¹	40

12月5日(火)	これからの職域健康診断			
14:00～16:00	平成28年度に厚生労働省は「定期健康診断等のあり方に関する検討会」を設置して、労働安全衛生法に基づく定期健康診断の見直しを行いました。本研修では、検討会における検討結果を概説し、今後の職域健康診断のあり方について解説します。	山口 直人	生涯・専門2	70
12月12日(火)	建設現場の職場巡視			
14:00～16:00	建設現場の安全衛生管理は、他職種と大きな違いがいくつかあります。基礎工事から完成までの有限性であること。その間使用する機材、有害物質が多種多様にわたり、労働者への曝露やハザードも様々であること。他職種にはない短期請負制度があること等です。そうしたことを把握した上で、しっかりとしたリスクマネジメントが求められています。「百聞は一見に如かず」です。まずはスライドで現場を「御一見」下さい。	土屋 譲	生涯・専門2	20
12月14日(木)	「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法			
14:00～16:00	大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・専門2	70
12月19日(火)	働くことで健康になる ～治療と職業生活の両立支援～を目指して			
14:00～16:00	生涯現役の時代は働くことによって健康になるという考え方が注目されています。また、ストレスチェック集団分析への関心の高まりが職場のあり方を見直す動きにつながっています。産業医の立場からも、働き甲斐のある職場とはどういう職場かを考え、提案していくことが求められていると思います。働くことで、成長できる、チームとして動ける、創意工夫を発揮できる、相当の処遇を受ける、社会的に評価されるとはどういうことなのか考えます。	古山 善一	生涯・専門2	70
12月20日(水)	「上海で働く日本人労働者の職業ストレスと健康障害の関係 ～日中過労死共同研究～」 「勤労者及び一般住民における新たな心血管リスクの解明と予防～亙理町コホート研究～」			
14:00～16:00	日中共同研究で進めている「中国都市部で働く日本人勤労者のストレスと健康障害に関する調査研究」について、「上海で働く日本人労働者の職業ストレスと健康障害の関係」の研究報告を行います。また、研究報告の中で東日本大震災に被災した行政職員や一般住民の健康影響について、心血管発症リスクの面からの報告を併せて行います。	東北労災病院 生活習慣病研究センター長 宗像 正徳	生涯・専門2	70
12月25日(月)	長時間労働者・高ストレス者に対する面接指導の実施方法について			
14:00～16:00	厚生労働省が作成した『高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル』の活用と医師面談における法的リスクの回避について解説します。	梶川 清	生涯・更新2	70
1月9日(火)	働くことで健康になる ～治療と職業生活の両立支援～を目指して			
14:00～16:00	生涯現役の時代は働くことによって健康になるという考え方が注目されています。また、ストレスチェック集団分析への関心の高まりが職場のあり方を見直す動きにつながっています。産業医の立場からも、働き甲斐のある職場とはどういう職場かを考え、提案していくことが求められていると思います。働くことで、成長できる、チームとして動ける、創意工夫を発揮できる、相当の処遇を受ける、社会的に評価されるとはどういうことなのか考えます。	古山 善一	生涯・専門2	70
1月11日(木)	事例検討～産業医としてどう対応するか～			
14:00～16:00	職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、グループワーク、全体発表を通じて参加者全員で考えていきたいと思ひます。	内田 和彦	生涯・実地2	40
1月15日(月)	産業保健活動 産業医としての業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～			
14:00～16:00	対象として、産業医業務の基本的事項について解説致します。具体的には、安全衛生計画の立案(評価)や安全衛生委員会の開催(運営)、職場巡視の実施や過重労働による健康障害防止活動の進め方等、産業医の関わる基本的な安全衛生事業について具体的な例を示しながら進めたいと思ひています。産業医業務の実際についてご経験の少ない方々を歓迎致します。	角田 透	生涯・専門2	70

1月16日(火)	作業環境測定方法			
13:30～16:30	本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立つ」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・ 実地3	30
1月17日(水)	石綿関連疾患診断技術研修			
13:30～17:30	石綿関連疾患について、石綿に関する一般的知識、石綿ばく露歴の把握方法、石綿関連疾患の診断及び労災補償制度等について解説します。 また、画像診断のポイント解説後、実際の症例画像を用いた読影診断実習を行います。 (本研修会は13時30分から17時30分までの4時間、専門2単位・実地2単位の研修です。)	岡山労災病院腫瘍内科部長 藤本 伸一 中部労災病院呼吸器内科部長 松尾 正樹	生涯・ 専門2 生涯・ 実地2	30
1月18日(木)	「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法			
14:00～16:00	大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。	中山 篤	生涯・ 専門2	70
1月19日(金)	長時間労働是正に関する労働基準法改正について			
14:00～16:00	働き方改革の重要な柱である長時間労働の是正のため、時間外労働の上限規制等の労働基準法改正が2017年秋の臨時国会において行われる見込みです。これまでの経過をおさらいし、改正内容を理解するように解説します。	石井 義脩	生涯・ 更新2	70
1月23日(火)	産業保健と法⑨～安全配慮義務～			
14:00～16:00	安全配慮義務についての基礎的な理解を目指すとともに、過労死・過労自殺のケースを中心に判例の傾向を見ていきます	弁護士 西園寺 直之	生涯・ 専門2	70
1月31日(水)	職場のメンタルヘルスにおける依存症			
14:00～16:00	人は、気持ちに余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。	長尾 博司	生涯・ 専門2	70

◆保健師・看護師研修◆

日時	テーマ	講師	単位	定員
11月2日(木) 14:00～16:00	実践(戦)的職場復帰支援～休業することも成長するチャンスです～ メンタルヘルス対策が浸透しつつ、職場復帰への支援はまだまだ欠かすことのできないことと思います。又、休業することはなかなか避けがたい実態でもありますでしょう。今、健康経営的視点を持つこと、休業期間を決して無駄ではない必要な時間として捉えるなど、休業する意味、働き続けられる復帰支援を考えていきましょう。さらには「病気と職業生活の両立支援」のガイドラインもできました。事例を通しながら職場復帰・両立支援をお伝えできればと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
11月6日(月) 14:00～16:00	職場復帰支援のあり方 職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	大西 守	単位なし	30
11月10日(金) 14:00～16:00	「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法 大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等が発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
11月15日(水) 14:00～16:30	事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン～意義、留意事項及び進め方～ 治療技術の進歩により、仕事をしながら疾病の治療を続けることが可能になってきましたが、治療と職業生活の両立支援に悩む事業場が多いという実情にあります。両立支援を進めることにより、従業員が培った知識・経験・ノウハウを維持することが出来ます。また、他の従業員も安心して働くことが出来ます。「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の意義、留意事項及び就業上の措置や治療に対する配慮について、また、「働き方改革実行計画」における位置付けや新しい「第13次労働災害防止計画」の作成に向けた論点などの最新の状況について説明します。次に、事業場における両立支援の取り組み状況について、グループごとに情報交換を行い、今後のより良い取組みに向けたヒントをつかむことを目指します。 ※本研修の研修時間は、2.5時間です(午後2時～午後4時30分)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	単位なし	30
11月21日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑩～安全配慮義務～ 安全配慮義務についての基礎的な理解を目指すとともに、過労死・過労自殺のケースを中心に判例の傾向を見ていきます (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	単位なし	30
11月22日(水) 14:00～16:30	「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について 平成28年6月より改正労働安全衛生法により施行された「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について、法改正の内容、事業場における対応、コントロールバンディングとは？、検知管を用いたリスクアセスメントの手法、個人ばく露濃度測定等を中心に、保健師、看護師、人事労務担当者、衛生管理者等を対象に「化学物質のリスクアセスメント」について解説します。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	市川 英一	単位なし	30
11月27日(月) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会の活性化と職場巡視による問題点の早期把握と対策について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における「安全衛生委員会の活性化と職場巡視による問題点の早期把握と対策について」「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリーディスカッション)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20

11月29日(水)	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方			
14:00～16:00	企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	単位なし	30
11月30日(木)	アサーティブな表現を身に付けよう			
14:00～16:00	良好な人間関係の構築・維持のために、職場、家庭、その他あらゆる場面で利用できる適切な自己表現法を紹介します。 部下や従業員に何かを依頼したい時、あるいは頼まれたことを引き受けられない時、皆さんはどのように返答しているでしょうか。本講座では、参加者どうしでの討議を交え、様々な自己表現のタイプを知り、適切な表現方法の基礎を身に付けることを目指します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業カウンセラー 深瀬 砂織 古山 善一	単位なし	30
12月6日(水)	メンタルヘルス不調者に寄り添う仕事④ これからのメンタルヘルス対策			
14:00～16:00	～相談事例を活かした集団分析の読み取り方と、職場環境改善アプローチ～ ～メンタルヘルス復職支援から応用する『治療と職業生活の両立支援』の基本理念と取り組み～ ～新たな産業保健スタッフ～公認心理師とは～ ストレスチェックから2年が経過し、集団分析と職場環境改善アプローチが本格化しています。 相談事例があるからこそ、集団分析を読み取る力が備わっていることを、理論と実践から解説します。 また、メンタルヘルスの復職支援を応用した『両立支援』の具体的な取り組み方法、9月に施行された公認心理師資格をご紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	精神保健福祉士 重山 三香子	単位なし	30
12月7日(木)	職場における救急体制			
14:00～16:00	職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	単位なし	20
12月8日(金)	ストレスチェック制度施行2年を経過して～ストレスチェック実施後の変化はいかがでしょうか 情報を共有いたしませんか～			
14:00～16:00	1回目のストレスチェック実施率は82.9%。面接指導実施率は0.6%。(厚労省H29年7月発表) 2回目のストレスチェック実施状況はいかがでしょう。高ストレス者選定、面接指導は今回どうか…。どんな違い、気になること・課題等の情報共有しながら一緒に考えてみませんか。PDCAサイクル、参加型で振り返りをしてみませんか。努力義務の集団ごとの集計・分析の実施、働きやすい職場環境に向けた実践など、2回目の現状を確認していきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
12月13日(水)	働く人のメンタルヘルス最前線⑮～法に基づくストレスチェック制度実践編(職場環境改善活動につなげる健康経営の考え方)～			
14:00～16:00	事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法について、解説いたします。また、改善活動主体を分類した上で、各種事業場の取り組み事例もご紹介いたします。 その他、経済産業省が推し進めている、労働者の健康作りに力を入れる「健康経営」に取り組む企業を認定する制度「健康経営優良法人認定制度」についても、詳しく解説いたします。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 ※研修の内容は前回開催(平成29年10月11日)とほぼ同じ内容です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	単位なし	30
12月15日(金)	事例を通して考える 部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション			
14:00～16:00	援助になるかわり方のポイントについて、体験的に学べる機会にしたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松島 尚子	単位なし	20
12月18日(月)	発達障害と思われる事例への対応を考える			
14:00～16:00	最近、発達障害と思われる職場不適応事例が多くみられます。事例を通して、その特徴と対処法について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎 美奈子	単位なし	30

12月21日(木)	無関心期の禁煙支援のポイント			
14:00～16:00	喫煙習慣の本質は、ニコチン依存にあり、「やめたい！でもやめられなし！」これが多くの喫煙者の本音です。 本講座では、無関心期の喫煙者の独特の心理構造を踏まえた効果的な禁煙支援のポイントをご紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	斎藤 照代	単位なし	20
12月22日(金)	認知行動療法とはどんなもの？			
14:00～16:00	認知行動療法の基礎的な内容を説明します。 認知行動療法については、「考え方を変える」「思考を修正する」などと言われていますが、実際はどのようなことをするのでしょ。本講座では、認知行動療法について概説し、簡単なツールを使いながら技法を体験していただく予定です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業カウンセラー 深瀬 砂織 古山 善一	単位なし	30
12月26日(火)	働くことで健康になる職場 ～治療と職業生活の両立支援～を目指して			
14:00～16:00	生涯現役の時代、働くことによって健康になるという考え方が注目されています。 働く喜びを感じられる職場とはどのようなものなのか。 厚生労働省が開発した快適職場スケールに則して考えます。 自分が成長できる 人間関係が良い 創意工夫が生かせる 働きに見合った報酬がある 社会に貢献できる 生活を大事にできる 労働負荷が適当である (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一	単位なし	30
1月22日(月)	労働衛生管理の基礎と事例～産業保健スタッフが取り組む労働衛生教育とメンタルヘルス対策～			
14:00～16:00	基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における「産業保健スタッフが取り組む労働衛生教育とメンタルヘルス対策」 「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリーディスカッション)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
1月24日(水)	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方			
14:00～16:00	企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	単位なし	30
1月25日(木)	「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法			
14:00～16:00	大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心を呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30
1月26日(金)	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える			
14:00～16:30	新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」ていくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(平成29年10月27日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	単位なし	30
1月29日(月)	労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～			
14:00～16:00	労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、45年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	単位なし	30

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

日時	テーマ	講師	定員
11月2日(木) 14:00～16:00	<p>実践(戦)的職場復帰支援～休業することも成長するチャンスです～</p> <p>メンタルヘルス対策が浸透しつつ、職場復帰への支援はまだまだ欠かすことのできないことと思います。又、休業することはなかなか避けがたい実態でもあります。今、健康経営的視点を持つこと、休業期間を決して無駄ではない必要な時間として捉えるなど、休業する意味、働き続けられる復帰支援を考えていきましょう。さらには「病気と職業生活の両立支援」のガイドラインもできました。事例を通しながら職場復帰・両立支援をお伝えできればと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) ※東京都「職場のメンタルヘルス対策推進キャンペーン」協力セミナーです。</p>	菅野 由喜子	40
11月6日(月) 14:00～16:00	<p>職場復帰支援のあり方</p> <p>職場復帰の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) ※東京都「職場のメンタルヘルス対策推進キャンペーン」協力セミナーです。</p>	大西 守	40
11月10日(金) 14:00～16:00	<p>「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法</p> <p>大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心と呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。</p> <p>過重労働等が発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。</p> <p>労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	中山 篤	40
11月15日(水) 14:00～16:30	<p>事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン～意義、留意事項及び進め方～</p> <p>治療技術の進歩により、仕事をしながら疾病の治療を続けることが可能になってきました。治療と職業生活の両立支援に悩む事業場が多いという実情にあります。両立支援を進めることにより、従業員が培った知識・経験・ノウハウを維持することが出来ます。また、他の従業員も安心して働くことが出来ます。「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の意義、留意事項及び就業上の措置や治療に対する配慮について、また、「働き方改革実行計画」における位置付けや新しい「第13次労働災害防止計画」の作成に向けた論点などの最新の状況について説明します。次に、事業場における両立支援の取り組み状況について、グループごとに情報交換を行い、今後のより良い取り組みに向けたヒントをつかむことを目指します。</p> <p>※本研修の研修時間は、2.5時間です(午後2時～午後4時30分)。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	荒川 輝雄	40
11月21日(火) 14:00～16:00	<p>産業保健と法⑩～安全配慮義務～</p> <p>安全配慮義務についての基礎的な理解を目指すとともに、過労死・過労自殺のケースを中心に判例の傾向を見ていきます</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	弁護士 西園寺 直之	40
11月22日(水) 14:00～16:30	<p>「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について</p> <p>平成28年6月より改正労働安全衛生法により施行された「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について、法改正の内容、事業場における対応、コントロールバンディングとは？、検知管を用いたリスクアセスメントの手法、個人ばく露濃度測定等を中心に、保健師、看護師、人事労務担当者、衛生管理者等を対象に「化学物質のリスクアセスメント」について解説します。</p> <p>※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	市川 英一	40
11月27日(月) 14:00～16:00	<p>労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生委員会の活性化と職場巡視による問題点の早期把握と対策について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。二部で各企業における「安全衛生委員会の活性化と職場巡視による問題点の早期把握と対策について」「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリーディスカッション)を行います。</p> <p>(保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	50

11月29日(水)	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方		
14:00～16:00	企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修) ※東京都「職場のメンタルヘルス対策推進キャンペーン」協力セミナーです。	梶川 清	40
11月30日(木)	アサーティブな表現を身に付けよう		
14:00～16:00	良好な人間関係の構築・維持のために、職場、家庭、その他あらゆる場面で利用できる適切な自己表現法を紹介します。 部下や従業員に何かを依頼したい時、あるいは頼まれたことを引き受けられない時、皆さんはどのように返答しているでしょうか。本講座では、参加者どうしでの討議を交え、様々な自己表現のタイプを知り、適切な表現方法の基礎を身に付けることを目指します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業カウンセラー 深瀬 砂織 古山 善一	40
12月6日(水)	メンタルヘルス不調者に寄り添う仕事④ これからのメンタルヘルス対策		
14:00～16:00	～相談事例を活かした集団分析の読み取り方と、職場環境改善アプローチ～ ～メンタルヘルス復職支援から応用する『治療と職業生活の両立支援』の基本理念と取り組み～ ～新たな産業保健スタッフ～公認心理師とは～ ストレスチェックから2年が経過し、集団分析と職場環境改善アプローチが本格化しています。 相談事例があるからこそ、集団分析を読み取る力が備わることを、理論と実践から解説します。 また、メンタルヘルスの復職支援を応用した『両立支援』の具体的な取り組み方法、9月に施行された公認心理師資格をご紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	精神保健福祉士 重山 三香子	40
12月7日(木)	職場における救急体制		
14:00～16:00	職場における様々な救急処置について注意点を解説するほか、救急体制づくりに必要となる重点項目を学習することができる研修会です。AED実習がありますので動きやすい服装でご参加ください。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	10
12月8日(金)	ストレスチェック制度施行2年を経過して～ストレスチェック実施後の変化はいかがでしょうか 情報を共有いたしませんか～		
14:00～16:00	1回目のストレスチェック実施率は82.9%。面接指導実施率は0.6%。(厚労省H29年7月発表) 2回目のストレスチェック実施状況はいかがでしょう。高ストレス者選定、面接指導は今回どうか…。どんな違い、気になること・課題等の情報共有しながら一緒に考えてみませんか。PDCAサイクル、参加型で振り返りをしてみませんか。努力義務の集団ごとの集計・分析の実施、働きやすい職場環境に向けた実践など、2回目の現状を確認していきましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
12月11日(月)	小規模事業場メンタルヘルス担当者のための研修～ラインケアも含めて～		
14:00～16:00	50人未満の事業場では、ストレスチェック制度の実施は努力目標となりましたが、職場におけるメンタルヘルス推進については、今後、ストレスチェック実施をすることが契機となること予測されます。また、電話相談では、小規模ゆえに、大規模事業場とは同じように動けないとのメンタルヘルス担当者の声がかかれます。そこで、小規模事業場ゆえの特性を確認しながら、有効なメンタルヘルスのあり方を説明していきます。	松井 知子	70
12月13日(水)	働く人のメンタルヘルス最前線⑮～法に基づくストレスチェック制度実践編(職場環境改善活動につなげる健康経営の考え方)～		
14:00～16:00	事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法について、解説いたします。また、改善活動主体を分類した上で、各種事業場の取り組み事例もご紹介いたします。 その他、経済産業省が推し進めている、労働者の健康作りに力を入れる「健康経営」に取り組む企業を認定する制度「健康経営優良法人認定制度」についても、詳しく解説いたします。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 ※研修の内容は前回開催(平成29年10月11日)とほぼ同じ内容です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	「こころの耳」事務局 長 石見 忠士	40
12月15日(金)	事例を通して考える 部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション		
14:00～16:00	援助になるかわり方のポイントについて、体験的に学べる機会にしたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松島 尚子	20

12月18日(月)	発達障害と思われる事例への対応を考える 14:00～16:00 最近、発達障害と思われる職場不適応事例が多くみられます。事例を通して、その特徴と対処法について検討します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	森崎 美奈子	40
12月21日(木)	無関心期の禁煙支援のポイント 14:00～16:00 喫煙習慣の本質は、ニコチン依存にあり、「やめたい！でもやめられなし！」これが多くの喫煙者の本音です。 本講座では、無関心期の喫煙者の独特の心理構造を踏まえた効果的な禁煙支援のポイントをご紹介します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	斎藤 照代	20
12月22日(金)	認知行動療法とはどんなもの？ 14:00～16:00 認知行動療法の基礎的な内容を説明します。 認知行動療法については、「考え方を変える」「思考を修正する」と言われていますが、実際はどのようなことをするのでしょ。本講座では、認知行動療法について概説し、簡単なツールを使いながら技法を体験していただく予定です。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	産業カウンセラー 深瀬 砂織 古山 善一	40
12月26日(火)	働くことで健康になる職場 ～治療と職業生活の両立支援～を目指して 14:00～16:00 生涯現役の時代、働くことによって健康になるという考え方が注目されています。 働く喜びを感じられる職場とはどのようなものなのか。 厚生労働省が開発した快適職場スケールに則して考えます。 自分が成長できる 人間関係が良い 創意工夫が生かせる 働きに見合った報酬がある 社会に貢献できる 生活を大事にできる 労働負荷が適当である (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一	40
1月22日(月)	労働衛生管理の基礎と事例～産業保健スタッフが取り組む労働衛生教育とメンタルヘルス対策～ 14:00～16:00 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。 今回は、二部構成で実施します。一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 二部で各企業における「産業保健スタッフが取り組む労働衛生教育とメンタルヘルス対策」 「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(フリーディスカッション)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
1月24日(水)	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 14:00～16:00 企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップのほか、最近厚生労働省が公表した『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』についても解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	40
1月25日(木)	「過重労働」による健康障害防止対策と労働安全衛生法 14:00～16:00 大手広告代理店の若手社員の自殺を機に、再び「過重労働」と「過労自殺」が社会的関心と呼んでいます。この企業は、過去にも同様事案を発生させ社会的問題になっていたにもかかわらず、再度同様の事案を発生させてしまいました。労働基準監督署の姿勢も厳しく強制捜査も行われています。 過重労働等を発生させた場合労働基準法と労働安全衛生法で、大きく問題にされるのは、長時間労働(サービス残業含む)と健康障害防止対策の2点です。 労働基準監督署は、調査の際に企業の過重労働による健康障害防止対策や長時間労働防止対策をどう見ているのか。今回は、過重労働による健康障害防止対策、長時間労働防止対策を、法違反の未然防止という観点も併せもう一度考えてみたいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
1月26日(金)	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える 14:00～16:30 新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不適応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は前回開催(平成29年10月27日)と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	40

<p>1月29日(月) 14:00～16:00</p>	<p>労働安全衛生法の理解を深める～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～ 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、45年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	<p>荒川 輝雄</p>	<p>40</p>
<p>1月30日(火) 14:00～16:30</p>	<p>がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために ～治療と就労のバランスを支えるヒント～ 今回の研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを目指して、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。</p>	<p>錦戸 典子 佐々木 美奈子 社会保険労務士 本山 恭子</p>	<p>30</p>